



帯畜大の研究 成果東京で発表 フェアに出展 フェアに出展

【東京】帯畜産大学の地域共同研究センターは28日までの2日間、都内で開かれた農林水産・食品分野の技術交流展示会「アグリビジネス創出フェア2007」（農水省主催）に出展

＝写真＝、研究成果などを発表して反響を集めた。

木下幹朗講師は、ナガイモ、大腸ポリープの発症を抑制する効果が期待できるとの動物実験結果を紹介し、皆さんに関心を持っていた」と手応えを語った。

帯畜大と共同研究を進める「リープス」（札幌市）の鈴木善人代表は、農地土壌の地力を再生して、農作物や人間の健康につなげたり、地球温暖化で問題となっている二酸化炭素の吸収源となるなどの可能性を秘めた技術について発表した。鈴木代表は「関心を持ってくれる企業もあって手応えを感じた」と話した。

（深田隆弘）